

粘度計校正用標準液

粘度計校正用標準液は JIS Z 8809 により規格制定された粘度計を校正する標準物質として製造、販売されているものです。粘度の値については産業技術総合研究所にて検定（値付け）されたものを試験成績保証書として添付しております。あわせて 0.1℃ 間隔で計算された温度 - 粘度計算表も添付しております。粘度の基準として正しくご利用いただき、粘度測定の精度の向上にお役立てください。

1. 標準液の種類（JIS Z 8809 における基準値および概略値）

種類 Type	基準値 Criteria Values		概略値 Summary Values			
	動粘度 mm ³ /s Kinematic Viscosity mm ³ /s		粘度 (mPa・s) Viscosity (mPa-s)			
	20℃	20℃	20℃	25℃	30℃	40℃
JS 2.5	2.5	2.0	—	—	1.6	1.4
JS 5	5.0	4.1	—	—	3.2	2.5
JS 10	10	8.4	—	—	6.1	4.6
JS 20	20	17	—	—	11	8.2
JS 50	50	43	—	—	27	18
JS 100	100	86	—	—	51	32
JS 200	200	170	—	—	95	56
JS 500	500	440	—	—	230	130
JS 1000	1,000	890	—	—	430	230
JS 2000	2,000	1,800	—	—	820	420
JS 14000	14,000	12,000	—	—	4,800	2,100
JS 52000	52,000	46,000	—	—	18,000	7,500
JS 160000	160,000	140,000	90,000	—	—	—

2. 標準液の成分

標準液の成分は石油系および合成炭化水素油です。粘度計の校正のために高度に精製されたもので、性質がきわめて安定なものです。

3. 標準液の取扱

使用後は、標準液をもとの容器に戻さないでください。使用後の標準液を再使用することはなるべく避け、開封後はなるべく早く使用してください。

4. 標準液の洗浄

標準液を使用後、粘度計および使用品の洗浄には、比較的洗浄性のよい溶剤（石油エーテル、ノルマルヘキサン、ヘプタンなど）を使用して、ロータ、容器などを洗浄し清浄に保ってください。

5. 標準液の保存

標準液は性質の安定したものですが、保管に当たっては、密栓し熱および光を避け、室温下の暗所にて保存してください。保存期間は開封後約 1 年を目安としてください。

